

入校生募集中

令和5年度第8号(11月) 佐賀県立産業技術学院

「学院祭(産技祭)開催」 多久まつりと同時開催(10月29日)

学院生が日ごろの訓練で修得した技術・技能を外部に披露する学院祭「産技祭」を 10 月 29 日(日) に 開催した。昨年までは「さがものづくり技能フェスタ」が学院を会場として開催され、それに合わせて同 時開催していたが、今年は地元の「多久まつり」(10月28・29日)と同時開催した。また、今年も職業能 力協会が主催する本棚や苔玉づくりを体験する「ものづくり体験」も開催された。

当日は、学院が多久まつりの駐車場やシャトルバスの発着所として利用されたこともあり、多くの来場 者で賑わった。それぞれの学科で、身に付けた技術・技能を駆使して、子供たちにゲーム感覚で楽しんで もらえるような趣向を凝らした作品を製作し体験してもらった。来場者からは「展示しているものがスゴ イ」「技術レベルが高く、設備も素晴らしい、若かったら自分が入校したい」などの感想が寄せられた。

なお、当日は、子供から地域の方、卒業生など幅広く来ていただき、1700人程度の来場者数となった。 【産技祭各科作品・展示内容】

<機械技術科> ストラックアウトゲーム 作品展示、クイズラリー

<自動車工学科> ミニ四駆製作、試走 ドライビングシュミレーター <木工芸デザイン科> 作品投票会、家具製作体験 「つくる ひとのわ くらしのわ」

<電気システム科> 電気を利用した体験ゲーム <建築技術・設計科> 模擬家屋展示、木製小物製作



機械技術科



自動車工学科



木工芸デザイン科



電気システム科



建築技術・設計科



多久まつり会場ステージ で産技祭を PR

「新しい形の在職者訓練"オープンクラス"実施」

機械技術科

学院生

機械技術科は R6年度から「機械システム科」に学科改編される。 カリキュラムにデジタル技術の基礎を加え、学科名が「機械システム 科」となる。また、新たな取り組みとして、学院の一部のカリキュラ ムを在職者向けに開放し、学院生の訓練に一緒に参加することがで きる「オープンクラス」を実施する。

R5 年度は、R6 年度からの本格実施に先駆けて、いくつかの単元 をテスト的に実施している。これまで「測定」「図面の見方」を実施 し、10月には「TIG溶接」を実施した。多久市内の2つの企業から 4 名が参加した。今後、「マシニングセンタ」 「半自動溶接」 について 実施する予定である。

左2人が在職者



オープンクラス「TIG 溶接」

「女子溶接技術競技会」開催 工業技術センター

第4回佐賀県女子溶接技術競技会が、11月18日(土)に工業技術センターで開催され、県内の事業所の他、工業高校生および産業技術学院から4名が参加した。過去最多の23名が参加し、被覆アーク溶接と炭酸ガスアーク溶接の2部門で競技が行われた。佐賀県の溶接協会では全国に先駆けて2020年から「女子溶接競技会」を開催している。学院も昨年度大会から参加し、今年度は4名が「被覆アーク溶接」部門に参加した。競技内容は「縦向きの溶接」で大変難しく、各々の学科の訓練が終わってから、居残りで練習に励んだ。なお、当日は外観検査まで行われ、X線検査、曲げ試験が後日行われ、年明けに結果が発表される。











浅田りなさん(建2) 金子琴美さん(建1)

川浪瑠華さん(自1)

藤井沙也香さん(電1)

「木エチャレンジコンテスト九州大会」開催 中学生の大会

11月18日(土)、中学生のものづくり技術を競う全国大会の九州地区予選が学院の木工芸デザイン科の実習場を会場として開催された。この大会では、木材を中心とした身近な材料を利用して、設計・製作を行い、完成した製作品はプレゼンテーションまで行うものである。佐賀県内からは三日月中学校と浜玉中学校から参加し、その他九州各県から12名が参加した。福岡教育大学及び熊本大学の教育学部教授が審査を担当した。なお、上位2名は、来年1月に東京で開催される全国大会の出場権が与えられた。







開会式での選手宣誓

競技の模様

表彰式

【12月の主な行事】

委託訓練入校式:2 委託訓練修了式:5 委託訓練選考試験:3

・11/30(木)…………機械技術科企業見学会(鹿島市)

·12/1(金)······12/月選考試験

・12/11 (月) ・・・・・・・・・・・・2月選考募集開始

・12/22(金)・・・・・・・・・・・ボランティア清掃、2学期終業式

·12/23(土)~1/8(月)······冬季休業

・12/28 (木) ………執務納め



この画像が県庁 HP のトップバナーで流れています!





イメージソング:夢が叶う時



<編集後記:学院長>

地元の「多久まつり」とコラボした「産技祭」は天候にも恵まれ、成功裏に終わり通常訓練に戻りました。 2 年生の就職戦線も順調で、内定の連絡が来ています。いくつかの会社では「内定式」を実施するところもあり学院生が参加しています。2023 年も残すところ、1 ヵ月となり、12 月 22 日(金)に終業式を実施します。